

『ゴルフとは、自らを自らで励ますこと。』



バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**  
www.valuegolf.co.jp

## ウッズイズバック

あの日、オーガスタの18番ホールは「Jack is back」という何万人ものつぶやきが一つになって、グリーンに向かうニクラウスを歓待していた。46歳のジャック・ニクラウスはこの日、18個目のメジャータイトルを獲得し、その記録は未だに誰も越えられない。

アメリカのゴルフトーナメントの最終戦、世界中のほとんどのゴルフファンは時差を超えてテレビに釘付けになっていたと思う。タイガー・ウッズの見事なカムバックだ。しかも、ツアー選手権を、4日間トップを維持しての完全優勝である。誰もがこの信じられないパフォーマンスを夢と現実と行ったり来たりしながら味わい、感動していたに違いない。数々のスキャンダルと数回の腰と膝の手術を乗り越えて、赤いシャツのヒーローが戻ってきた。18番の第2打を終えたタイガー・ウッズと同伴プレーヤーのマキロイが何かを語り合いながら、グリーンに向かつて歩いてきた。その後ろには、この一日中、ウッズを応援していたと思われる観客が群れをなして、フェアウェイに入り込み、大きな塊となって押し寄せている。私もたくさんの試合を見てきたがこんなシーンは見たこともなかったし、また起こることも思わなかった。

タイガー・ウッズというゴルフプレーヤーを応援する、というよりは、むしろタイガー・ウッズという一人の人間のカムバックをまるで自分のことのように称え、感動している人々の群れ。

4・5メートルほどの下のフックラインのバーディパットをわずかに外し、パーであったウッズは、大きく両手を振り上げて、観衆に答えた。彼がスランプに陥る前の強烈なガッツポーズもなければ、帽子を空に舞い上げることもなかった。多分、彼が一番自らの努力の重さを知り、その結果訪れる勝利というものを信じていたのだろう。

ゴルフほど、努力が結果に反映するスポーツはないと思う。なぜならば、努力から得られる最大の結果は、強い自信と精神力なのである。



戸張 捷 Sho Tobar

1945年、東京生まれ。  
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。